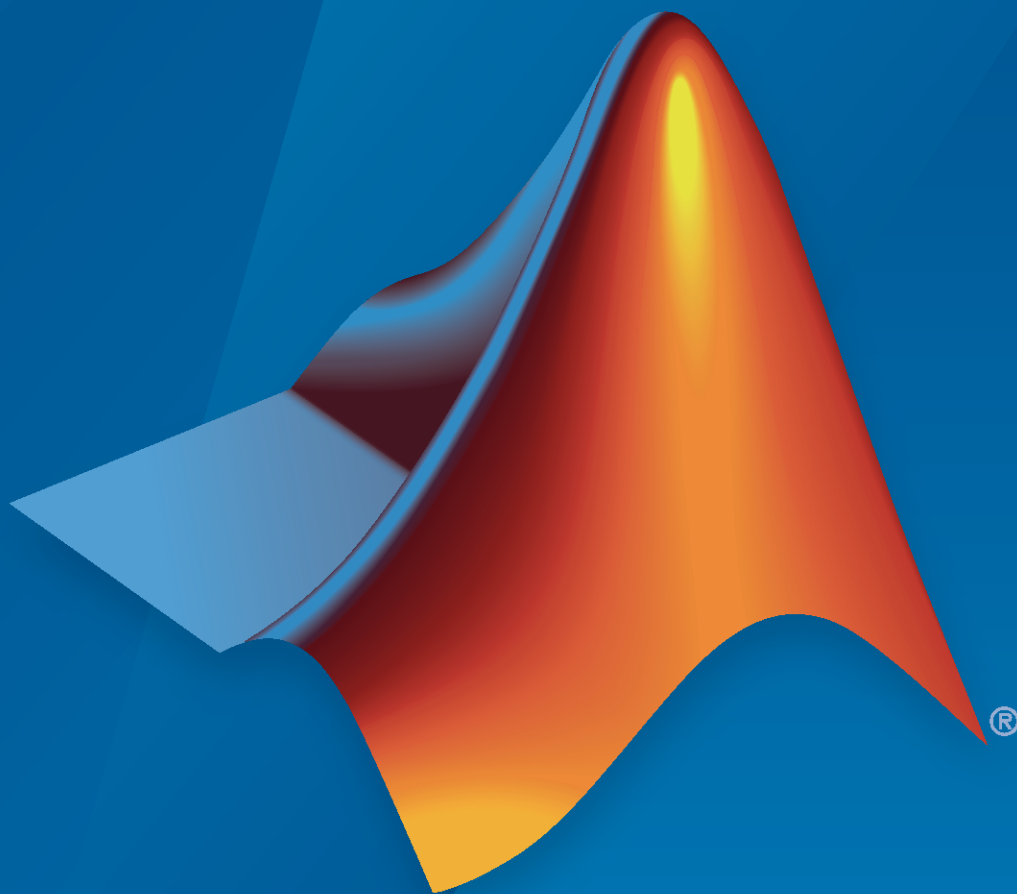


インストールおよびライセンス インストールのヘルプ



MATLAB® & SIMULINK®

MathWorks へのお問い合わせ



最新情報: www.mathworks.com
営業およびサービス: www.mathworks.com/sales_and_services
ユーザー コミュニティ: www.mathworks.com/matlabcentral
テクニカル サポート: www.mathworks.com/support/contact_us



代表番号: 03-6367-6700



The MathWorks GK
〒107-0052 東京都港区赤坂 4 丁目 15-1
赤坂ガーデンシティ 7F

MathWorks インストールのヘルプ

© COPYRIGHT 1996-2023 by The MathWorks, Inc.

The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used or copied only under the terms of the license agreement. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form without prior written consent from The MathWorks, Inc.

FEDERAL ACQUISITION: This provision applies to all acquisitions of the Program and Documentation by, for, or through the federal government of the United States. By accepting delivery of the Program or Documentation, the government hereby agrees that this software or documentation qualifies as commercial computer software or commercial computer software documentation as such terms are used or defined in FAR 12.212, DFARS Part 227.72, and DFARS 252.227-7014. Accordingly, the terms and conditions of this Agreement and only those rights specified in this Agreement, shall pertain to and govern the use, modification, reproduction, release, performance, display, and disclosure of the Program and Documentation by the federal government (or other entity acquiring for or through the federal government) and shall supersede any conflicting contractual terms or conditions. If this License fails to meet the government's needs or is inconsistent in any respect with federal procurement law, the government agrees to return the Program and Documentation, unused, to The MathWorks, Inc.

商標

MATLAB and Simulink are registered trademarks of The MathWorks, Inc. See www.mathworks.com/trademarks for a list of additional trademarks. Other product or brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

特許

MathWorks products are protected by one or more U.S. patents. Please see www.mathworks.com/patents for more information.

改訂履歴

2020 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.8 新版 (Release 2020a)
2020 年 9 月	PDF のみ	MATLAB 9.9 改訂版 (Release 2020b)
2021 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.10 改訂版 (Release 2021a)
2021 年 9 月	PDF のみ	MATLAB 9.11 改訂版 (Release 2021b)
2022 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.12 改訂版 (Release 2022a)
2022 年 9 月	PDF のみ	MATLAB 9.13 改訂版 (Release 2022b)
2023 年 3 月	PDF のみ	MATLAB 9.14 改訂版 (Release 2023a)

MathWorks 製品のインストール

1

インターネット接続を使用した製品のインストール	1-2
始める前に	1-2
手順 1. MathWorks アカウントへのサインイン	1-3
手順 2. インストーラーのダウンロードと実行	1-3
手順 3. ライセンス許諾への同意	1-5
手順 4. ライセンスの選択またはアクティベーション キーの入力	1-5
ネットワーク ライセンス ユーザーのみ	1-5
手順 5. 認証オプションの選択	1-6
手順 6. ユーザーの確認	1-6
手順 7. 保存先フォルダーの選択	1-6
手順 8. 製品の選択	1-7
手順 9. オプションの選択	1-7
手順 10. 選択内容の確認とインストール	1-7
サーバー製品の追加の手順	1-8
インストールを後で行う場合の製品のダウンロード	1-9
始める前に	1-9
手順 1. インストーラーと製品ファイルのダウンロード	1-10
手順 2. 保存先フォルダーの選択	1-10
手順 3. プラットフォームの選択	1-10
手順 4. 製品の選択	1-11
手順 5. 選択内容の確認とダウンロード	1-11
手順 6. インストーラー ファイルと製品ファイルの移動 (オプション)	1-11
次のステップ	1-11
ファイル インストール キーを使用した製品のインストール	1-13
始める前に	1-13
手順 1. ライセンス ファイルとインストール キーの入手	1-14
手順 2. インストーラーの起動	1-14
手順 3. ライセンス許諾への同意	1-16
手順 4. ファイル インストール キーの入力	1-16
手順 5. ライセンス ファイルの選択	1-16
手順 6. 保存先フォルダーの選択	1-16
手順 7. 製品の選択	1-17
手順 8. オプションの選択	1-17
手順 9. 選択内容の確認とインストール	1-17
既存のインストール製品への追加	1-19
ドキュメンテーションのインストール	1-20
インターネット接続を使用したドキュメンテーションのインストール	1-21
メモ	1-21

オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール	1-22
始める前に	1-22
手順 1. ドキュメンテーション インストーラーのダウンロード	1-22
手順 2. ターゲット マシンへのドキュメンテーションのインストール ...	1-22
手順 3. MATLAB のドキュメンテーションへのポイント	1-23
インストール後	1-24
メモ	1-24
ネットワーク サーバーへのドキュメンテーションのインストール	1-25
メモ	1-26

ネットワーク ライセンスでの製品のインストール

2

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画	2-2
ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール手順	2-2
MATLAB のインストール手順	2-2
ネットワーク ライセンス ファイルの更新または変更	2-4
ネットワーク ライセンスについて	2-4
ネットワーク ライセンス ファイルの内容	2-4
ライセンスの処理	2-5
MATLAB ライセンスの検索パス	2-5
ネットワーク ライセンスの更新	2-6
非対話的インストール	2-8
非対話的インストールを使用する状況	2-8
インストーラー プロパティ ファイルの使用	2-8
インストール ログ ファイル	2-9
エンド ユーザーによる製品のインストール	2-10
ライセンス要件	2-10
手順の選択	2-10
オプション #1: MathWorks アカウントにネットワーク ライセンスをリンクする	2-11
オプション #2: ライセンス ファイルとファイル インストール キーを使用してインストールする	2-11
手動による MATLAB インストールのアクティベーション	2-12
アクティベーションの概要	2-12
手順 1. アクティベーション アプリの起動	2-12
手順 2. ライセンスのアクティベーション	2-13
この後は	2-13

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

3

ネットワーク ライセンス マネージャーのオフライン インストール	3-2
手順 1. ライセンス ファイルのダウンロード	3-2

手順 2.	インストーラーのダウンロード	3-2
手順 3.	インストーラーの起動	3-3
手順 4.	ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認	3-3
手順 5.	ライセンス ファイルの選択	3-3
手順 6.	保存先フォルダーの選択	3-3
手順 7.	オプションの選択 (Windows システムのみ)	3-4
手順 8.	選択内容の確認とインストール	3-4
インターネット接続を使用したネットワーク ライセンス マネージャーのインストール		
手順 1.	ライセンス ファイルのダウンロード	3-5
手順 2.	製品インストーラーのダウンロードと起動	3-5
手順 3.	ソフトウェア ライセンス 許諾書の確認	3-6
手順 4.	ライセンス ファイルの選択	3-6
手順 5.	保存先フォルダーの選択	3-6
手順 6.	オプションの選択 (Windows システムのみ)	3-7
手順 7.	選択内容の確認とインストール	3-7
ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新		
手順 1.	ネットワーク ライセンス マネージャーの停止	3-8
手順 2.	インストール方法の選択	3-8

MathWorks 製品のインストール

この章では、MathWorks® 製品のインストール方法について説明します。

インターネット接続を使用した製品のインストール

これは、1 台のコンピューターにインストールする場合に、最も迅速で簡単な手順です。MathWorks アカウント、そのアカウントにリンクされたライセンス、およびインターネット接続がアクティブでなければなりません。アクティベーション キーを保有している場合は、リンクされたライセンスの代わりに使用できます。インターネット接続がない場合は、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-13) の手順に従います。

MathWorks ソフトウェアのインストールに適した権限がなければなりません。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。

始める前に

インストール プロセス中の問題を回避するために、始める前に以下の重要事項をお読みください。

MathWorks アカウント

MathWorks 製品をインストールするには、MathWorks アカウント、またはアカウントへのアクセス権が必要です。インディビジュアル ライセンスを保有している場合は、購入時に MathWorks アカウントが作成されています。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、状況に応じて次の手順のいずれかを選択します。

状況	アクション
大学のライセンスを使用しています。	所属教育機関のポータルにアクセスしてインストールします。
会社の（ネットワーク）ライセンスを使用しています。	MathWorks アカウントを作成し、ライセンス管理者またはネットワーク管理者からネットワーク ライセンス ファイルを取得したら、「手順 1. MathWorks アカウントへのサインイン」に進むことができます。
会社のエンタープライズ ライセンスを使用しています。	ライセンス管理者にお問い合わせください。
製品ライセンスまたは評価版がありません。	MathWorks ストアに移動してください。

システムが要件を満たしていることの確認

始める前に、MATLAB のシステム要件を確認してください。

複数のリリースのインストール

同じマシンに複数のリリースをインストールできます。たとえば、R2022a と R2022b の両方、または R2022b と R2023a のプレリリースをインストールできます。各リリースは、専用のフォルダーにインストールする必要があります。

インストール中の接続に関する問題のトラブルシューティング

インストール中は、コンピューターのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にすることを検討してください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応が示されない可能性もあります。

インストール中にインターネット接続が失われた場合は、インストーラーを再実行する必要があります。接続の問題が解決しない場合は、次を行います。

- ・ より信頼性の高いインターネット接続環境を構築します（ルーターの近くに移動するか、イーサネット ケーブルを使用します）。
- ・ 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」の手順に従います。この手順では、インストーラー ファイルをダウンロードするために、インターネットに接続されたコンピューターが必要ですが、オフライン時にターゲット コンピューターでインストールを実行できます（同じコンピューターで構いません）。

インターネット接続問題の診断に関するその他のヒントについては、この MATLAB Answers の投稿を参照してください。

インストール用の tmp ディレクトリの変更

インストール用の tmp フォルダーを変更するには、MATLAB Answers の How can I change the temp directory the MATLAB installer uses? を参照してください。

手順 1. MathWorks アカウントへのサインイン

ユーザー名とパスワードを使用して MathWorks アカウントにサインインします。

MathWorks アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、MathWorks アカウントのサインイン時に、主な方法に送信された認証コードを入力する必要があります。

手順 2. インストーラーのダウンロードと実行

ダウンロードする MathWorks 製品インストーラーには、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するのに必要なファイルのみが含まれています。製品ファイルは含まれていません。インストーラーを実行して、サインインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。インストーラーが、必要な製品を MathWorks からダウンロードします。

MathWorks Web サイトのダウンロード ページで、インストールするリリースと、インストール対象のコンピューターのプラットフォームを選択します。

ダウンロードが完了したら、プラットフォーム固有の手順に従ってインストーラーを起動します。

Windows

Windows® システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

C:\Program Files\MATLAB\R2023a

Windows システムでインストーラーを起動するには、次を行います。

- 1 matlab_R2023a_win64.exe インストーラー ファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します。
- 2 アプリケーションによる変更を許可するかどうかを尋ねられたら、[はい] と回答します。
- 3 インターネット アクセスにプロキシ サーバーを使用するようにコンピューターが構成されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して標準インストールを続行します。プロキシ サーバーの資格情報については、システム管理者にお問い合わせください。

1 MathWorks 製品のインストール

Linux

Linux® システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

/usr/local/MATLAB/R2023a

メモ MathWorks 製品は、書き込み権限のあるディレクトリにインストールする必要があります。既定のディレクトリにインストールする場合を除き、インストーラーの実行にルート権限は必要ありません。

次の手順に従って、Linux にインストールします。

- 1 システム ターミナルで、次のように入力して、matlab_R2023a_glnxa64.zip インストーラーアーカイブを matlab_R2023a_glnxa64 ディレクトリに解凍します。

```
unzip matlab_R2023a_glnxa64.zip -d matlab_R2023a_glnxa64
```

- 2 matlab_R2023a_glnxa64 ディレクトリに移動します。

- ・ インストーラーを起動し、書き込み権限のあるディレクトリにインストールするには、次を実行します。

```
./install
```

インストーラーによってプロンプトが表示されたら、インストール先のフォルダーを指定します。

- ・ インストーラーをルートとして起動するには、次を実行します。

```
sudo ./install
```

インストーラーがルートとして起動できない場合、インストーラーがディスプレイにアクセスできない可能性があります。次の回避方法を試してください。

```
xhost +SI:localuser:root  
sudo -H ./install  
xhost -SI:localuser:root
```

これにより、ルート ユーザーは実行中の X サーバーにアクセスできるようになり、インストーラーが起動されます。その後、ルート ユーザーは削除され、X サーバーにアクセスできなくなります。

macOS

macOS システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

/Applications/MATLAB_R2023a.app

macOS システムにインストールするには、次を行います。

- 1 matlab_R2023a_maci64.dmg.zip ファイルをダブルクリックして、ディスク イメージを解凍します。
- 2 matlab_R2023a_maci64.dmg ディスク イメージ ファイルをダブルクリックして、バーチャルディスクをマウントします。
- 3 バーチャル ディスク内の InstallForMacOSX インストーラー ファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します。

- 4 インターネット アクセスにプロキシ サーバーを使用するようにコンピューターが構成されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して標準インストールを続行します。プロキシ サーバーの資格情報については、システム管理者にお問い合わせください。

手順 3. ライセンス許諾への同意

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認します。ライセンス許諾書は MathWorks とユーザーの間の法的な契約であり、ユーザーに許可する MathWorks ソフトウェアの使用方法和、その使用に関する条件を規定しています。一部の MathWorks 製品では、サードパーティ ソフトウェア（そのプログラム内で使用されるものと、プログラムでのアプリケーション開発に使用されるもの）の利用条件にも同意する必要があります。その利用条件は、The MathWorks, Inc. Software License Agreement の条件と異なるか、それに追加されている場合があります。

ライセンス許諾書の条件に同意しない場合、MathWorks 製品をインストールすることはできません。

手順 4. ライセンスの選択またはアクティベーション キーの入力

ライセンスの使用

リストからライセンスを選択します。

ライセンスが一切リストされていない場合、または使用するライセンスが見つからない場合は、次を行います。

- ・ アカウントにライセンスをリンクする必要がある場合があります。MathWorks Web サイトのライセンスをリンクを参照してください。
- ・ 所属団体のライセンスを使用している場合があります。「エンド ユーザーによる製品のインストール」のいずれかの手順に従うか、管理者にアクティベーション キーを要請できます（次のセクションを参照）。

学生ライセンスを使用している場合は、プロンプトが表示されたら Student Version 使用ポリシーに同意します。

まだ手順がわからない場合は、管理者に問い合わせるか、MathWorks Web サイトからサポートにお問い合わせください。

アクティベーション キーの使用

自分の MathWorks アカウントにリンクされていないライセンスを使用して製品をインストールする場合は、管理者にアクティベーション キーを要請します。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスしてアクティベーション キーを取得できます。評価版ライセンスを使用している場合は、<https://www.mathworks.com/licensecenter/trials> にアクセスします。

[アクティベーション キーの入力] を選択して別のライセンスにリンクします。

ネットワーク ライセンス ユーザーのみ

ネットワーク ライセンスを MathWorks アカウントにリンクすることを選択した場合、ネットワーク ライセンスの選択後にネットワーク ライセンス ファイル（管理者から入手した license.dat）が要求されます。ライセンス ファイルへのパスを入力し、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

手順 5. 認証オプションの選択

メモ 認証オプションは、ライセンスの許諾されたネームド ユーザーのみが使用できます。

インストール時に、ソフトウェアのアクティベーションをすぐに行うことができます。その後、このコンピュータで MathWorks ソフトウェアを使用するとき、認証にインターネット接続は不要です。アクティベーション プロセスでは、ソフトウェアを使用する権利を付与するライセンス ファイルが保存されます。

このコンピュータが複数のユーザーにより使用されると予想される場合、またはこのソフトウェアをクラウド環境で使用する場合、起動するたびにソフトウェアを認証するように選択できます。このオプションでは、各ユーザーが MATLAB を使用するには、MathWorks アカウントにサインインする必要があります。

MathWorks はアカウント情報を使用して、ライセンスの権利を付与します。このオプションを使用すると、MATLAB は MathWorks への接続が引き続きアクティブかどうかを定期的に確認します。一定時間の経過後にアクティブな接続を検出できなかった場合、セッションを終了します。

手順 6. ユーザーの確認

ソフトウェアをインストールした人が、ソフトウェアのユーザーでもあると見なされます。他の人のためにソフトウェアをインストールしている場合は、ユーザー名（ログイン名）を目的のエンド ユーザーに変更します。

手順 7. 保存先フォルダーの選択

保存先フォルダーは、MathWorks 製品をインストールする場所です。

既定のフォルダーの使用

インストール プロセスでは、オペレーティング システムとリリース バージョンに基づいて、既定のインストール フォルダーが作成されます。たとえば、R2023a の既定のインストール フォルダーは次のとおりです。

オペレーティング システム	既定のインストール フォルダー
Windows	C:\Program Files\MATLAB\R2023a
Linux	/usr/local/MATLAB/R2023a
macOS	/Applications/MATLAB/R2023a

既定のインストール フォルダーをそのまま使用するには、[OK] をクリックします。

別のフォルダーの指定

別のフォルダーを選択するには、[参照] をクリックして既存のフォルダーを指定します。

存在しないフォルダーを選択する場合、目的のパスとファイル名を入力すると、インストーラーによってフォルダーが作成されます。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。MathWorks では、MathWorks 製品をユーザー各自のフォルダーにインストールすることを推奨しています。ドライブの最上位を選択した場合、選択内容を確認するように求められます。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を“private”にすることはできません。

フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定値に戻す] をクリックします。

手順 8. 製品の選択

[製品選択] リストには、選択したライセンスまたは指定したアクティベーション キーに関連付けられている、すべての製品が表示されます。

- ・ 特定の製品をインストールするには、名前の横のチェック ボックスをオンにします。MATLAB は既定で選択されています。
- ・ インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。
- ・ 選択した製品のいずれかが、選択していない製品に依存する場合、製品の依存関係に関する警告が表示され、依存する製品を追加するように求められます。

依存する製品はオプションであり、追加するか、追加しないかを選択できます。しかし、依存する製品なしでも選択した製品をインストールできますが、必要な機能の一部にアクセスできない場合があります。

- ・ 必須の製品はインストールしなければなりません。

手順 9. オプションの選択

一部のオプションは、特定のライセンス タイプでのみ利用可能です。オプションが提示されない場合、次の手順に進むことができます。

- ・ Windows – スタート メニューとデスクトップに、MATLAB を起動するためのショートカットを配置できます。
- ・ Linux – matlab スクリプトおよび mex スクリプトへのシンボリック リンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、このコンピューターのユーザー パスすべてに共通する /usr/local/bin などのフォルダーを指定します。

手順 10. 選択内容の確認とインストール

インストールの選択内容のまとめが表示されます。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。インストールを続行するには、[インストールの開始] をクリックします。

インストールが完了したら、構成を完了するために必要な追加の手順が表示されるかどうかを確認し、[終了] をクリックします。追加の手順が必要な場合は、MATLAB を実行する前に完了しておきます。

1 MathWorks 製品のインストール

メモ MATLAB Parallel Server™、MATLAB Web App Server™、MATLAB Production Server™ などのサーバー製品の場合、インストール ディレクトリに移動し、コマンドを実行してサーバーを設定する必要があります。詳細については、「サーバー製品の追加の手順」を参照してください。

サーバー製品の追加の手順

MathWorks サーバー製品では、追加の手順を実行してサーバーを設定する必要があります。サーバー製品固有の手順については、次の表でご使用の製品を参照してください。

製品	手順
MATLAB Parallel Server	MATLAB Parallel Server のインストールおよび構成を行うための解決法の選択
MATLAB Online Server™	Perform Minimal MATLAB Online Server Installation on Single Machine
MATLAB Web App Server	Set Up MATLAB Web App Server
MATLAB Production Server	コマンド ラインまたはダッシュボード インターフェイスのいずれかを使用して、サーバー インスタンスを設定します。 <ul style="list-style-type: none">Set Up MATLAB Production Server Using the Command LineSet Up and Log In to MATLAB Production Server Dashboard

インストールを後で行う場合の製品のダウンロード

すぐにインストールを実行せずに（同じコンピューターまたは別のコンピューターのいずれでも）、製品をダウンロードします。この手順は、後で 1 台以上のコンピューターに MathWorks 製品をインストールする場合に便利です。インストール先のコンピューターには、インターネット接続があっても、オフラインでもかまいません。MathWorks アカウントにリンクされたライセンス（評価版ライセンスも含む）の管理者でなければなりません。

インストーラーと製品をダウンロードした後は、ダウンロードした場所からいつでも MathWorks 製品をインストールできます。ファイル インストール キーを使用する場合は、ダウンロードした製品ファイルがインストーラー ファイルを含み、ネットワーク接続のないコンピューターからアクセスできる場所にあることを確認します。

メモ インストーラーと製品ファイルをダウンロードするには、インターネットに接続されたコンピューターを使用する必要があります。

始める前に

MathWorks アカウント

製品インストーラーをダウンロードするには、MathWorks アカウント、またはアカウントへのアクセス権が必要です。インディビジュアル ライセンスを保有している場合は、購入時に MathWorks アカウントが作成されています。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、状況に応じて次の手順のいずれかを選択します。

状況	アクション
大学のライセンスを使用しています。	所属教育機関のポータルにアクセスしてインストールします。
会社の（ネットワーク）ライセンスを使用しています。	MathWorks アカウントの作成後、「手順 1. インストーラーと製品ファイルのダウンロード」に進むことができます。 管理者がインストーラーと製品ファイルをダウンロードした場合は、それらにアクセスできる保存先を調べてから、「オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール」に移動します。
会社のエンタープライズ ライセンスを使用しています。	ライセンス管理者にお問い合わせください。
製品ライセンスまたは評価版がありません。	MathWorks ストアに移動してください。

オフライン システムが要件を満たしていることの確認

オフライン マシンに製品をインストールする場合は、オフライン システムが MATLAB のシステム要件を満たしていることを確認してください。

ダウンロード中の接続に関する問題のトラブルシューティング

ダウンロード中にインターネット接続が失われた場合は、再度ダウンロードする必要があります。接続の問題が解決しない場合は、より信頼性の高いインターネット接続を構成する（ルーターの近くに移動するか、イーサネット ケーブルを使用する）か、マシンを変更することを検討してください。

インターネット接続問題の診断に関するその他のヒントについては、この MATLAB Answers の投稿を参照してください。

手順 1. インストーラーと製品ファイルのダウンロード

MathWorks アカウントにサインインします。2 段階認証を有効にしている場合（MathWorks アカウントで）は、主な方法に送信された認証コードを入力します。

- 1 MathWorks のダウンロード ページで、リリース、およびダウンロードに使用するコンピューター（ターゲット コンピューターではありません）のプラットフォームを選択します。
- 2 インストーラーを起動します。アプリによる変更を許可するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、[はい] と回答します。
- 3 再びプロンプトが表示された場合は、MathWorks アカウントにサインインして、MathWorks ライセンス許諾書に同意します。
- 4 インストーラーで、[詳細オプション]、[インストールせずにダウンロードする] を選択します。

手順 2. 保存先フォルダーの選択

インストーラーと製品ファイルのダウンロード先にするフォルダーへのパスを入力します。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を “private” にすることはできません。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。

手順 3. プラットフォームの選択

MATLAB をインストールするコンピューターのプラットフォームを、Windows、Linux、macOS から選択します。

複数のプラットフォームを選択できますが、すべてのプラットフォームが同じ最上位フォルダーにダウンロードされることに注意してください。

Linux または macOS 用インストーラーの Windows でのダウンロード Linux にインストールするために Windows でインストーラーをダウンロードした場合は、ターゲット マシンにインストールする前に、ファイルを ZIP アーカイブなどのファイルに圧縮せずに、マシンに転送する必要があります。そうしないと、ZIP アーカイブの解凍後にエラーが発生します。これは、圧縮前に作成されたシンボリック リンクの実確な再作成が Windows ではできないためです。詳細と解決策については、この MATLAB Answers の投稿を参照してください。

手順 4. 製品の選択

[製品選択] リストに、リンクされたすべてのライセンスについて、使用可能なすべての製品が表示されます。

- ・ 特定の製品をターゲット コンピューターにインストールできるようにするには、名前の横のチェックボックスをオンにします。MATLAB は既定で選択されています。
- ・ 特定の製品をターゲット コンピューターにインストールしない場合は、名前の横のチェック ボックスをオフにします。
- ・ 選択した製品のいずれかが、選択していない製品に依存する場合、製品の依存関係に関する警告が表示され、依存する製品を追加するように求められます。

依存する製品はオプションであり、追加するか、追加しないかを選択できます。しかし、依存する製品なしでも選択した製品をインストールできますが、必要な機能の一部にアクセスできない場合があります。

- ・ 必須の製品はインストールしなければなりません。

ソフトウェアをインストールするときにインストール可能な製品は、ライセンスで許可されているものによって決まります。

手順 5. 選択内容の確認とダウンロード

- 1 ダウンロードの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。ダウンロードを実行するには、[ダウンロードの開始] をクリックします。
- 2 ダウンロードが完了したら、[閉じる] をクリックします。

手順 6. インストーラー ファイルと製品ファイルの移動（オプション）

ターゲット マシンがオフライン マシンの場合は、製品ファイル（インストーラー ファイルを含む）をターゲット コンピューターまたはアクセス可能な場所（USB ドライブ、ネットワーク共有など）にコピーします。

製品ファイルが格納されているフォルダーに、以下が含まれていることを確認します。

- ・ フォルダーのルートに、ターゲット プラットフォーム向けのインストーラー ファイル:

- ・ Windows- setup.exe
- ・ Linux-install

ルート アカウントを使用してインストーラーを実行する予定がある場合は、MATLAB Answers の次の投稿を参照してください。Why can't I install MATLAB with the root account in Linux?

- ・ macOS - InstallForMacOSX
- ・ アーカイブ サブフォルダー

アーカイブ サブフォルダー内のファイルが 3 個未満である場合は、必要なファイルが不足している可能性があるため、再びファイルをダウンロードしなければなりません。

次のステップ

実行する手順は、ターゲット コンピューターにインターネット接続があるかどうかによって決まります。

1 MathWorks 製品のインストール

- ・ インターネット接続がある場合: 「インターネット接続を使用した製品のインストール」 (p. 1-2) の手順を使用します。
- ・ オフラインの場合: 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-13) の手順を使用します。

参考

関連する例

- ・ 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-13)

ファイル インストール キーを使用した製品のインストール

この手順は、インターネット接続のないコンピューターに MathWorks 製品をインストールする場合に使用します。インターネット接続がある場合でもこの手順を使用でき、ターゲット コンピューターをインターネットから切断する必要はありません。

このワークフローの準備として、以下のアイテムを入手する必要があります。

- ・ ファイル インストール キーとライセンス ファイル。「手順 1. ライセンス ファイルとインストール キーの入手」を参照してください。
- ・ 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 1-9) の手順を使用して入手した、製品インストーラーと製品ファイル。インストール ファイルは、必ずライセンス ファイルおよびファイルインストール キーとともにターゲット コンピューターに移動してください。

Linux または macOS 用インストーラーの Windows でのダウンロード Linux または macOS にインストールするために Windows にインストーラーをダウンロードした場合、ターゲット マシンにインストールするときに、UNIX® インストーラーに含まれているシンボリック リンクの確実な再作成が Windows ではできないため、エラーが発生します。詳細と解決策については、この MATLAB Answers の投稿を参照してください。

MathWorks ソフトウェアのインストールに適した権限がなければなりません。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。

始める前に

インストール プロセス中の問題を回避するために、始める前に以下の重要事項をお読みください。

システムが要件を満たしていることの確認

始める前に、MATLAB のシステム要件を確認してください。

複数のリリースのインストール

同じマシンに複数のリリースをインストールできます。たとえば、R2022a と R2022b の両方、または R2022b と R2023a のプレリリースをインストールできます。各リリースは、専用のフォルダーにインストールする必要があります。

インストール用の tmp ディレクトリの変更

インストール用の tmp フォルダーを変更するには、MATLAB Answers の [How can I change the temp directory the MATLAB installer uses?](#) を参照してください。

ウイルス対策およびセキュリティ アプリケーションの無効化

インストール中にコンピューター上のウイルス対策ソフトウェアとセキュリティ アプリケーションを無効にすることを検討してください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応が示されない可能性もあります。

接続エラー

オフライン ワークフローでのインストーラーの実行中に接続エラーが発生した場合、最も考えられる原因は、ファイル インストール キーを使用して MathWorks 製品をインストールするために必要なすべてのインストール ファイルが揃っていないことです。インターネットに接続されたコンピューターを使用

して、「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 1-9)に移動し、ワークフローを最初からやり直してください。

手順 1. ライセンス ファイルとインストール キーの入手

- ・ インディビジュアル ライセンスのユーザーは、ライセンス ファイルとファイル インストール キー (FIK) をライセンス センターから入手できます。

インターネット接続のあるコンピューターを使用して、次を行います。

- 1 MathWorks アカウントにサインインし、使用するライセンスをクリックします。
- 2 [インストールとアクティベーション] タブに移動します。このライセンスに対してまだコンピューターのアクティベーションを実行していない場合は、[アクティベーションの実行] をクリックしてライセンスのアクティベーションを実行し、ライセンス ファイルをダウンロードして、ファイル インストール キーを入手します。

既にライセンスのアクティベーションを実行済みで、ファイル インストール キーがある場合は、代わりに [ライセンス ファイルを取得] にあるダウンロード矢印または電子メール アイコンをクリックできます。

- 3 これらのアイテムをダウンロードして USB メモリなどの取り外し可能なストレージに保存します。
 - 4 ライセンス ファイルとファイル インストール キーをターゲット コンピューターにコピーします。
- ・ ネットワーク ライセンス ユーザーは、ライセンスまたはネットワーク管理者からネットワーク ライセンス ファイルと FIK を入手し、自分のマシンにコピーできます。
 - ・ 管理者は、ネットワーク ライセンス マネージャーをホストしているサーバーからネットワーク ライセンス ファイルのコピーを、ライセンス センターからファイル インストール キー (FIK) を入手できます (ダウンロードしたライセンス ファイルを FIK とともにユーザーに渡さないでください)。
 - ・ 評価版ライセンスを使用している場合は、<https://www.mathworks.com/licensecenter/trials> にアクセスします。

手順 2. インストーラーの起動

このセクションに示すように、ターゲット マシンのプラットフォーム固有の手順を使用してインストーラーを起動します。アプリによる変更を許可するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、[はい] と回答します。

Windows

Windows システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

C:\Program Files\MATLAB\R2023a

Windows システムでインストーラーを起動するには、次を行います。

- 1 matlab_R2023a_win64.exe インストーラー ファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します。
- 2 アプリケーションによる変更を許可するかどうかを尋ねられたら、[はい] と回答します。
- 3 インターネット アクセスにプロキシ サーバーを使用するようにコンピューターが構成されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して標準インストールを続行します。プロキシ サーバーの資格情報については、システム管理者にお問い合わせください。

Linux

Linux システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

/usr/local/MATLAB/R2023a

メモ MathWorks 製品は、書き込み権限のあるディレクトリにインストールする必要があります。既定のディレクトリにインストールする場合を除き、インストーラーの実行にルート権限は必要ありません。

次の手順に従って、Linux にインストールします。

- 1 システム ターミナルで、次のように入力して、matlab_R2023a_glnxa64.zip インストーラーアーカイブを matlab_R2023a_glnxa64 ディレクトリに解凍します。

```
unzip matlab_R2023a_glnxa64.zip -d matlab_R2023a_glnxa64
```

- 2 matlab_R2023a_glnxa64 ディレクトリに移動します。

- ・ インストーラーを起動し、書き込み権限のあるディレクトリにインストールするには、次を実行します。

```
./install
```

インストーラーによってプロンプトが表示されたら、インストール先のフォルダーを指定します。

- ・ インストーラーをルートとして起動するには、次を実行します。

```
sudo ./install
```

インストーラーがルートとして起動できない場合、インストーラーがディスプレイにアクセスできない可能性があります。次の回避方法を試してください。

```
xhost +SI:localuser:root
sudo -H ./install
xhost -SI:localuser:root
```

これにより、ルート ユーザーは実行中の X サーバーにアクセスできるようになり、インストーラーが起動されます。その後、ルート ユーザーは削除され、X サーバーにアクセスできなくなります。

macOS

macOS システムの既定のインストール ディレクトリは次のとおりです。

/Applications/MATLAB_R2023a.app

macOS システムにインストールするには、次を行います。

- 1 matlab_R2023a_maci64.dmg.zip ファイルをダブルクリックして、ディスク イメージを解凍します。
- 2 matlab_R2023a_maci64.dmg ディスク イメージ ファイルをダブルクリックして、バーチャルディスクをマウントします。
- 3 バーチャル ディスク内の InstallForMacOSX インストーラー ファイルをダブルクリックして、インストーラーを起動します。

- 4 インターネット アクセスにプロキシ サーバーを使用するようにコンピューターが構成されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して標準インストールを続行します。プロキシ サーバーの資格情報については、システム管理者にお問い合わせください。

手順 3. ライセンス許諾への同意

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認します。ライセンス許諾書の条件に同意しない場合、MathWorks 製品をインストールすることはできません。

手順 4. ファイル インストール キーの入力

ファイル インストール キーの入力を求められたら、入力します。

- ・ インストーラーによって製品ファイルが見つからなかった場合、ファイル インストール キーの入力前にエラーが表示されます。このメッセージには、必要なファイルをダウンロードする手順が含まれます。
- ・ キーが無効であるというメッセージが表示されたら、正しくキーを入力したことを確認してください。必要な場合は、新しいファイル インストール キーを入手してください。
- ・ インストールしようとしているリリースについてキーが無効であるというメッセージが表示されたら、管理者に問い合わせるか、ライセンス センターにアクセスして、保有しているファイル インストール キーに対応するファイルを入手します。評価版ライセンスを使用している場合は、<https://www.mathworks.com/licensecenter/trials> にアクセスします。

手順 5. ライセンス ファイルの選択

ファイル インストール キーを使用する場合、インストールにはライセンス ファイルが必要です。それによって、実行できる製品が特定されます。

- ・ ファイルは有効なライセンス ファイルでなければなりません。
- ・ インストーラーによって、何らかの理由でライセンス ファイルが無効であると検出された場合、別のライセンス ファイルを使用するか、新しいライセンス ファイルを入手してください。

手順 6. 保存先フォルダーの選択

保存先フォルダーは、MathWorks 製品をインストールする場所です。既定のインストール フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。MathWorks では、MathWorks 製品をユーザー各自のフォルダーにインストールすることを推奨しています。ドライブの最上位を選択した場合、選択内容を確認するように求められます。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を "private" にすることはできません。

フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定値に戻す] をクリックします。

インストール用の tmp ディレクトリの変更 インストール用の tmp フォルダーを変更するには、MATLAB Answers の [How can I change the temp directory the MATLAB installer uses?](#) を参照してください。

手順 7. 製品の選択

[製品選択] リストに、指定したファイル インストール キーに関連付けられているすべての製品が表示されます。

- ・ 特定の製品をインストールするには、名前の横のチェック ボックスをオンにします。MATLAB は既定で選択されています。
- ・ インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。
- ・ 選択した製品のいずれかが、選択していない製品に依存する場合、製品の依存関係に関する警告が表示され、依存する製品を追加するように求められます。

依存する製品はオプションであり、追加するか、追加しないかを選択できます。しかし、依存する製品なしでも選択した製品をインストールできますが、必要な機能の一部にアクセスできない場合があります。

- ・ 必須の製品はインストールしなければなりません。

手順 8. オプションの選択

一部のオプションは、特定のライセンス タイプでのみ利用可能です。オプションが提示されない場合、次の手順に進むことができます。

- ・ Windows – スタート メニューとデスクトップに、MATLAB を起動するためのショートカットを配置できます。
- ・ Linux – matlab スクリプトおよび mex スクリプトへのシンボリック リンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、このコンピューターのユーザー パスすべてに共通する /usr/local/bin などのフォルダーを指定します。

手順 9. 選択内容の確認とインストール

インストールの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。インストールを続行するには、[インストールの開始] をクリックします。

インストールが完了したら、構成を完了するために必要な追加の手順が表示されるかどうかを確認し、[終了] をクリックします。追加の手順が必要な場合は、MATLAB を実行する前に完了しておきます。

サーバー製品をインストールする場合は、「サーバー製品の追加の手順」を参照してください。

ライセンス管理者またはシステム管理者のみ 回復不能なエラーが発生する場合や、組織内のライセンスの混在について複雑な問題がある場合は、代わりに ISO のダウンロードを実行することを検討してください。How do I download a MATLAB ISO archive? を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 1-9)
- ・ 「オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール」

既存のインストール製品への追加

MathWorks ソフトウェアの拡張方法に応じて、追加の製品を購入してインストールしたり、既にライセンスを保有している製品の機能を拡張したりできます。

- ・ 追加の製品とツールボックス – 追加の製品には、MATLAB および Simulink と併用できる機能が含まれています。

既に保有するライセンスに追加して製品を購入する場合は、インストーラーを再実行して、既存のインストール製品にそれらの製品を追加します。この手順は、元の製品を初めてインストールしたときの手順とまったく同じです。

- ・ 単独のインストール製品 – 「インターネット接続を使用した製品のインストール」または「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」の手順を参照してください。
- ・ 複数のインストール製品 – 管理者が「クライアント マシンへの製品のインストール」から手順を選択します。
- ・ アドオン – アドオンは、特定のタスクやアプリケーションに、ハードウェア デバイスへの接続、追加アルゴリズムおよび対話型アプリなどの追加の機能を提供することで、MATLAB の機能を拡張します。

詳細については、を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「製品のインストール」

ドキュメンテーションのインストール

既定では、MATLAB を使用しているときに、Web 上の製品ドキュメンテーションにアクセスします。これにより、インストールのフットプリントが削減されます。

コンピューターが一時的または永続的にインターネットに接続されていないときにドキュメンテーションを使用するために、マシンにドキュメンテーションをインストールできます。

- ・ ドキュメンテーション インストーラーは、ドキュメンテーションのインストールに使用している MATLAB のリリースに合わせて、マシンにインストールされている各製品のドキュメンテーションをインストールします。同じマシンに MATLAB の複数のリリースが存在する場合は、それらの MATLAB の各バージョンのインストール手順を実行します。
- ・ コンピューター指定ライセンスまたはネットワーク ライセンスを使用して MATLAB をインストールした場合は、ドキュメンテーションを 1 回だけインストールして、そのライセンスでマシンを使用するすべてのユーザーがドキュメンテーションを使用できるように設定できます。
- ・ ドキュメンテーションに必要なディスク容量は、インストールするドキュメンテーション セットの数によって異なります。R2023a 以降、MathWorks が提供するすべての製品のすべてのドキュメンテーション セットをインストールする場合、必要な合計ディスク容量は 10 GB 弱です。

開始する準備ができれば、次の表から手順を選択します。

シナリオ	ワークフロー
通常、MATLAB を使用するときにはマシンがインターネットに接続されていますが、ときにはオフラインで作業します。	「インターネット接続を使用したドキュメンテーションのインストール」
MATLAB を使用するとき、マシンはインターネットに接続されていません。	「オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール」
管理者の場合：ドキュメンテーションをネットワーク サーバーから提供します。	「ネットワーク サーバーへのドキュメンテーションのインストール」 メモ 必ず、ネットワーク サーバーにインストールされた MATLAB に、クライアントが使用する可能性のあるツールボックスとアドオンを“すべて”含めます。これにより、ドキュメンテーション インストーラーは、インストールする製品ドキュメンテーション セットを認識します。

参考

関連する例

- ・ 「インターネット接続を使用した製品のインストール」
- ・ 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」
- ・ 「非対話的インストール」

インターネット接続を使用したドキュメンテーションのインストール

コンピューターがインターネットに接続されている間にドキュメンテーションのコピーをインストールし、後でオフラインで使用できます。

通常、インターネットに接続していない状態で MATLAB で作業する場合は、「オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール」の手順に従います。

ドキュメンテーションをインストールするには、次を行います。

- 1 インターネットに接続した状態で MATLAB を起動し、サインインします（必要な場合）。
- 2 [ホーム] タブの [環境] セクションで [基本設定] をクリックし、[MATLAB]、[ヘルプ] を選択します。
- 3 [ドキュメンテーションの場所] の [ローカル] を選択します。[ドキュメンテーションのインストール] が表示されます。
- 4 [ドキュメンテーションのインストール] をクリックします。

MATLAB により、ドキュメンテーションがサポート パッケージのルート フォルダーにインストールされます。サポート パッケージのルートを見つけるには、関数 `matlabshared.supportpkg.getSupportPackageRoot` を使用します。

- 5 MATLAB を再起動してドキュメンテーションの設定を完了します。

通常どおり、オンラインまたはオフラインでドキュメンテーションにアクセスします。それでも MATLAB が Web 上のドキュメンテーションを開こうとする場合は、[ホーム] タブに移動し、[環境] セクションの [基本設定] をクリックし、[MATLAB]、[ヘルプ] を選択します。[ドキュメンテーションの場所] の [ローカル] を選択します。

メモ

- Web 上のドキュメンテーションに戻すには、[ホーム] タブに移動し、[環境] セクションの [基本設定] をクリックし、[MATLAB]、[ヘルプ] を選択します。[ドキュメンテーションの場所] の [Web (mathworks.com)] を選択します。
- 複数のコンピューターの場合は、ドキュメンテーションのインストールが必要なコンピューターの台数だけ、このオンライン手順を繰り返します。完全にオフラインのマシンについては、「オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール」を参照してください。
- 製品の追加後または削除後にインストール済みのドキュメンテーションを更新したり、最新のドキュメンテーションがあることを確認したりするには、この手順を繰り返します。

参考

関連する例

- 「ドキュメンテーションのインストール」
- 「インターネット接続を使用した製品のインストール」

オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール

始める前に

メモ このページには、ドキュメンテーションのインストール ファイルをダウンロードするための対話型 “ユーザー インターフェイス” (UI) が含まれています。このワークフローに従うには、インターネットに接続されたコンピューターを使用し、Web でこのページを表示する必要があります。

この手順では、ドキュメンテーションの ISO (Windows および Linux) または DMG (macOS) ファイルをダウンロードしてマウントします。ドキュメンテーションの ISO/DMG ファイルは約 8.1 GB です。この手順の実行について、不安を感じた場合、または十分な知識がない場合は、システム管理者に連絡してください。

ドキュメンテーションの ISO ファイルまたは DMG ファイルをダウンロードするには、MathWorks アカウントが必要です。ただし、オフラインのマシンにドキュメンテーションをインストールするために、MathWorks アカウントは必要ありません。したがって、MathWorks アカウントをもつ管理者はファイルをダウンロードでき、同僚は MATLAB ユーザーでなくても、MATLAB ユーザー向けのドキュメンテーションをインストールできます。

通常はインターネットに接続して MATLAB で作業し、まれにオフラインで作業する場合は、「インターネット接続を使用したドキュメンテーションのインストール」の手順に従ってください。

手順 1. ドキュメンテーション インストーラーのダウンロード

- 1 このページで、ターゲットのオフライン マシンのオペレーティング システムを選択し、[Download documentation] をクリックします。

Select Operating Systems

MacOS

Download Documentation

- 2 ダウンロードが完了したら、リムーバブル メディア ストレージまたは共有ネットワークの場所を使用して、ドキュメンテーションの ISO ファイルまたは DMG ファイルをオフラインのコンピューターにコピーします。

手順 2. ターゲット マシンへのドキュメンテーションのインストール

- 1 ターゲット マシンにドキュメンテーションの ISO ファイルまたは DMG ファイルをマウントします (How do I install MathWorks products using an ISO image? を参照してください)。
- 2 bin/<arch> に移動します。ここで、<arch> はこのコンピューターのオペレーティング システムです。
- 3 オペレーティング システムのコマンド プロンプトで、ドキュメンテーション インストーラーを実行します。

```
mpm install-doc --matlabroot=matlabrootfolder
```

matlabrootfolder を、MATLAB をインストールしたフォルダーに置き換えます。
matlabrootfolder は有効なフォルダーで、正しくフォーマットされている必要があります。

- ・ Windows の例

MATLAB をフォルダー "C:\Program Files\MATLAB\R2023a" にインストールした場合は、次のドキュメンテーション インストール コマンドを発行します。

```
mpm install-doc --matlabroot="C:\Program Files\MATLAB\R2023a"
```

- ・ Linux/macOS

MATLAB をユーザー jomalley のフォルダー "/home/username/matlab" にインストールした場合は、次のコマンドを実行します。

```
mpm install-doc --matlabroot=/home/jomalley/matlab
```

MATLAB は既定で、ドキュメンテーションをサポート パッケージのルート フォルダーにインストールします。サポート パッケージのルートを見つけるには、関数 `matlabshared.supportpkg.getSupportPackageRoot` を使用します。

ドキュメンテーションに別の場所を指定するには、`--destination` フラグを使用します。MATLAB がインストールされた場所以外の場所（ネットワーク ドライブなど）にドキュメンテーションの ISO/DMG ファイルをマウントする場合は、`--source` フラグを使用して、インストーラー ファイルへの絶対パスを指定します。

```
mpm install-doc --matlabroot=matlabrootfolder --source=docinstallfolder --destination=destinationfolder
```

メモ

- ・ MATLAB のインストール前にこのコマンドを実行すると、エラーが発生します。まず MATLAB をインストールします。その後、ドキュメンテーションをインストールできます。
- ・ R2023a より前のリリースでこのコマンドを実行しようとする、エラーが発生します。

-
- 4 ドキュメンテーションの ISO または DMG をアンマウントします。ディスク容量を回復する必要がある場合は、イメージを削除します。
 - 5 `--destination` フラグを使用して既定以外の場所にドキュメンテーションをインストールした場合は、手順 3 に進んで起動ファイルを変更します。

それ以外の場合は、MATLAB を再起動してドキュメンテーションの設定を完了します。

手順 3. MATLAB のドキュメンテーションへのポイント

`--destination` フラグを使用して既定以外の場所にドキュメンテーションをインストールした場合は、次の手順に従って MATLAB をドキュメンテーションにポイントします。

- 1 オフラインのコンピュータで、`startup.m` ファイルを編集用を開きます。
- 2 `startup.m` に次の行を追加して、`docroot` を新しいドキュメンテーションの場所に設定します。ここで、`NEW_DOCROOT` は、ドキュメンテーションをインストールしたフォルダーへのパスです。

```
docroot(NEW_DOCROOT)
```

- 3 MATLAB を再起動してドキュメンテーションのインストールを完了します。

インストール後

通常どおりドキュメンテーションにアクセスします。それでも MATLAB が Web 上のドキュメンテーションを開こうとする場合は、[ホーム] タブに移動し、[環境] セクションの [基本設定] をクリックし、[MATLAB]、[ヘルプ] を選択します。[ドキュメンテーションの場所] の [ローカル] を選択します。

メモ

- ・ Web 上のドキュメンテーションに戻すには、[ホーム] タブに移動し、[環境] セクションの [基本設定] をクリックし、[MATLAB]、[ヘルプ] を選択します。[ドキュメンテーションの場所] の [Web (mathworks.com)] を選択します。
- ・ 複数のコンピューターの場合は、ドキュメンテーションのインストールが必要なコンピューターの台数だけ、このオフライン手順を繰り返します。通常インターネットに接続されているマシンについては、「インターネット接続を使用したドキュメンテーションのインストール」を参照してください。
- ・ 製品の追加後または削除後にインストール済みのドキュメンテーションを更新したり、最新のドキュメンテーションがあることを確認したりするには、この手順を繰り返します。

参考

関連する例

- ・ 「ドキュメンテーションのインストール」
- ・ 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」

ネットワーク サーバーへのドキュメンテーションのインストール

メモ 以下の手順は、管理者のみを対象としています。

既定を Web ドキュメンテーションにすることは、インストール済み製品の最新のドキュメンテーションをユーザーに提供する最善の方法です。ただし、インターネットにアクセスできないマシンを使用するユーザーにドキュメンテーションへのアクセスを提供する必要がある場合は、個々のマシンにドキュメンテーションをインストールする代わりに、すべてのユーザーがアクセスできるネットワーク サーバーにドキュメンテーションをインストールすることを選択できます。この設定の利点は、次のとおりです。

- ・ ユーザーは、自分のマシンに大量のドキュメンテーションを保存する必要がない。
- ・ 製品の追加または削除が行われたときに、ユーザーがドキュメンテーションを更新する必要がない。
- ・ 最新の状態にしておく限り、ユーザーはインストール可能な最新のドキュメンテーションに常にアクセスできる。

メモ MATLAB がネットワーク サーバーにインストールされていることを確認します。実行する必要はなく、使用する必要ありませんが、MATLAB がインストールされている必要があります。

さらに、ネットワーク サーバーにインストールされた MATLAB に、クライアントが使用する可能性のあるツールボックスとアドオンがすべて含まれていることを確認します。これにより、ドキュメンテーション インストーラーは、インストールするドキュメンテーション セットを認識します。ユーザーがアクセスしている製品を除外すると、ユーザーはその製品のドキュメンテーションを取得できません。

ネットワーク サーバーにドキュメンテーションをインストールするには、次を行います。

- 1 「オフラインのマシンへのドキュメンテーションのインストール」の手順に従って、ドキュメンテーションをダウンロードし、ネットワーク サーバーにインストールします。
- 2 MATLAB のある各コンピューターの各ユーザー用に startup.m ファイルを編集し、docroot をネットワーク サーバー上のドキュメンテーションの場所に設定します。

startup.m ファイルで、次の行を追加します。

```
docroot(NEW_DOCROOT)
```

NEW_DOCROOT を、ドキュメンテーションをインストールしたネットワーク フォルダーへのパスに置き換えます。

あるいは、指示のこの部分をユーザーに提供して、ユーザーに実行してもらいます。

- 3 各ユーザーのマシンで MATLAB を再起動します（またはユーザーに実行してもらいます）。

通常どおり、オンラインまたはオフラインでドキュメンテーションにアクセスします。それでも MATLAB が Web 上のドキュメンテーションを開こうとする場合は、[ホーム] タブに移動し、[環境] セクションの [基本設定] をクリックし、[MATLAB]、[ヘルプ] を選択します。[ドキュメンテーションの場所] の [ローカル] を選択します。

メモ

- ・ Web 上のドキュメンテーションに戻すには、[ホーム] タブに移動し、[環境] セクションの [基本設定] をクリックし、[MATLAB]、[ヘルプ] を選択します。[ドキュメンテーションの場所] の [Web (mathworks.com)] を選択します。
- ・ 製品の追加後または削除後にインストール済みのドキュメンテーションを更新したり、最新のドキュメンテーションがあることを確認したりするには、この手順を繰り返します。

参考

関連する例

- ・ 「ドキュメンテーションのインストール」
- ・ 「非対話的インストール」

ネットワーク ライセンスでの製品のインストール

ネットワーク構成でのクライアントのインストール オプション

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール手順

MathWorks は、ネットワーク インストールに Flexera Software, Inc. のライセンス マネージャー プログラムを使用します（このドキュメンテーションでは、“ネットワーク ライセンス マネージャー” と呼びます）。

MATLAB をインストールする前に、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールすることをお勧めします。これにより、インストール時にクライアント コンピューターがライセンス サーバーに正常にアクセスしていることを確認できるため、MATLAB のインストールを簡単に検証できます。

ネットワーク ライセンスの管理のカテゴリから、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールして実行する手順を選択します。

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール後、MATLAB のインストール手順を選択します。

注意 ネットワーク インストールを計画するときに、以下の推奨事項に従ってください。

- ・ ネットワーク ライセンス マネージャーの実行コマンドを、インターネットまたは信頼されていないネットワークに露出しない。
 - ・ シャットダウン手順の実行にローカル管理者のアクセス権が必要になるように、ネットワーク ライセンス マネージャーを起動する。
-

MATLAB のインストール手順

MATLAB をユーザーのコンピューターにインストールする人は、次を満たしていなければなりません。

- ・ インストールするライセンスの管理者であること
- ・ ライセンスのネームド ユーザーである、またはネットワーク ライセンスが自分の MathWorks アカウントにリンクされている

次の表を参考にして、MATLAB の適切なインストール手順を選択します。

インストールのタイプ	インストール担当者	手順
インターネット接続を使用した対話的なインストールとアクティベーション。	管理者またはユーザー	<p>管理者：</p> <p>「インターネット接続を使用した製品のインストール」 (p. 1-2) の手順に従います。</p> <p>ユーザー：</p> <p>「エンド ユーザーによる製品のインストール」 (p. 2-10) の指示に従います。次に、「インターネット接続を使用した製品のインストール」 (p. 1-2) の手順に従います。</p>

インストールのタイプ	インストール担当者	手順
管理者がインストーラーをダウンロードする。ユーザーがインターネット接続を使用し、対話的にインストールとアクティベーションを行う。	管理者およびユーザー	「エンド ユーザーによる製品のインストール」 (p. 2-10) の指示に従います。 次に、エンド ユーザーに、「インターネット接続を使用した製品のインストール」 (p. 1-2) の手順に従ってもらいます。
オフライン コンピューターへの対話的なインストールとアクティベーション	管理者またはユーザー	「エンド ユーザーによる製品のインストール」 (p. 2-10) の指示に従います。 次に、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-13) の手順に従います。
管理者がインストーラーをダウンロードする。ユーザーが対話的にオフライン コンピューターへのインストールとアクティベーションを行う。		
サイレント モードでインストールする。 各ダイアログ ボックスで必要な情報を入力してインストールを対話的に実行する代わりに、インストーラーを非対話的に実行することができる。このモードでは、すべての必要な情報をプロパティ ファイルに入力する。	管理者、または知識のあるユーザー	「非対話的インストール」 (p. 2-8)

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新」
- ・ 「ネットワーク ネームド ユーザー ライセンスの管理」
- ・ 「コンカレント ライセンスの管理」
- ・ 「クラウド プラットフォームの MATLAB のライセンス要件」

ネットワーク ライセンス ファイルの更新または変更

ネットワーク ライセンスについて

ネットワーク ライセンスには、組織がインストールおよび実行するライセンスを保有している各製品の暗号パスコードが記載されています。

一般に、サーバーまたはクライアント コンピューター上のネットワーク ライセンス ファイルを変更する必要はありません。しかし、状況によっては、ライセンス ファイルを編集しなければならない場合があります。

- ・ ライセンス サーバーの名前を変更する場合（たとえば、ライセンスを新しいサーバーでホストする場合など）。
- ・ ポート番号を変更する場合（たとえば、サーバーのポート アドレスが変更された場合など）。次のサポート記事に、MATLAB クライアント インストールの移行手順が記載されています。How do I migrate my MATLAB clients to a new license server when the license server changes?
- ・ ネットワーク インストールを新しいライセンス ファイルで更新する場合。MATLAB Answers の How do I update the license file used by the Network License Manager? を参照してください。

ネットワーク ライセンス ファイルの内容

ネットワーク ライセンス ファイルとは特殊な形式の ASCII テキスト ファイルで、実行するライセンスのある各製品の暗号パスコードが記載されています。各製品のパスコードは、該当する製品で使用可能なライセンス キーの数を指定します。各製品に関連付けられているライセンス キーの使用状況に応じて、その製品へのアクセスを許可するか拒否するかがネットワーク ライセンス マネージャーによって決定されます。

- ・ 各 INCREMENT 行は、製品、製品に対して使用可能なキーの数、その他の情報を指定します（この例に示されているすべての要素が実際のライセンス ファイルの INCREMENT 行に含まれているとは限りません）。
- ・ バックスラッシュまたは円記号（\）は、その行が次の行に続くことを示します。
- ・ シャープ記号（#）で始まる行はコメント行です。MathWorks インストーラーは、インストール中のライセンス ファイル処理時に、これらのコメント行にあるライセンス サーバーのホスト ID、インターネット アドレスなどの情報を使用します。

```
# BEGIN-----BEGIN-----BEGIN
# MATLAB license passcode file.
# LicenseNo: 123456          HostID: 6C4B905F446E
#
# R2021b
#
INCREMENT MATLAB MLM 46 30-jan-2025 13 FDC7243F4976 \
  VENDOR_STRING=vi=0:at=200:ae=1:lu=300:lo=CN:ei=1234567:lr=1:2p=0: \
  DUP_GROUP=UH asset_info=123456 ISSUED=21-Nov-2021 BORROW=720 \
  NOTICE=product=MATLAB SN=123456 SIGN="00C8 0547 EFD5 50D7 B9CE \
  4C9D 3348 561B E9E3 6CCA 7986 C2F6 38C8 794F EE84"
INCREMENT SIMULINK MLM 46 30-jan-2025 1 7DE4D05FF067 \
  VENDOR_STRING=vi=0:at=200:ae=1:lu=300:lo=CN:ei=1234567:lr=1:2p=0: \
  DUP_GROUP=UH asset_info=123456 ISSUED=21-Nov-2021 BORROW=720 \
  NOTICE=product=SIMULINK SN=123456 SIGN="00BE C534 0A32 1821 \
  AFCE D040 2085 3E00 9005 4983 7EFB 875F E4A7 FEE6 9548"
```

ライセンスの処理

ネットワーク ライセンス マネージャーまたは MATLAB ソフトウェアのインストール時に、インストーラーはサーバー マシン用とクライアント マシン用のネットワーク ライセンスをそれぞれ処理します。

サーバーへのネットワーク ライセンス マネージャーのインストール中

サーバー上でインストーラーが次を行います。

- ・ `license.dat` というネットワーク ライセンス ファイルのコピーを作成し、ファイルを処理して `SERVER` と `DAEMON` の行を追加し、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする `/etc` フォルダーにこのコピーを配置します。これは、MATLAB のインストール フォルダーです。
- ・ `SERVER` 行はサーバー ホストとポート番号を識別します。`DAEMON` 行はネットワーク ライセンス マネージャー デーモンの名前を識別します。
- ・ ネットワーク ネームド ユーザー ライセンスについては、インストール時にインストーラーでオプション ファイルが作成されると、ライセンス ファイルの `DAEMON` 行に `Options=` 構文も追加されます。この構文はオプション ファイルのパス名を指定します。

たとえば、使用しているサーバー名が `thunderball` で `MAC` アドレスが `03:42:f8:1b:b2:72` の場合、ライセンス ファイルの `SERVER` 行と `DAEMON` 行は次のようになります。

```
SERVER thunderball 03:42:f8:1b:b2:71
DAEMON MLM "C:\Program Files\MATLAB\R2023a\etc\win64\MLM.exe" \
options="C:\Program Files\MATLAB\R2023a\etc\mlm.opt"
```

クライアント コンピューターへの MATLAB のインストール中

インストーラーを実行するには、まずネットワーク ライセンス マネージャーのインストール中に構成された `license.dat` ファイルをコピーし、クライアント マシンまたはネットワークからアクセス可能な場所のいずれかに配置する必要があります。

次に、インストール中に、インストーラーは `license.dat` のコピーを作成し、それを処理してライセンス ファイルから `INCREMENT` 行と `DAEMON` 行を削除して、`SERVER` 行はそのまま残します。また、ファイルにステートメント `USE_SERVER` を追加します。この行はクライアントにサーバー上のネットワーク ライセンス ファイルを指定します。ファイルには製品のすべてのパスコードが記載されています。

この構成済みファイルに `network.lic` という名前を付け、そのファイルを `matlabroot\licenses` に配置します。

メモ ライセンス センターからダウンロードしたライセンス ファイルをユーザーに提供しないでください。ユーザーは、ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール中に特別に構成されたライセンス ファイルを使用する場合にのみ、インストールができます。

MATLAB ライセンスの検索パス

MATLAB は起動時にライセンス ファイルを読み取り、製品のライセンスを確認します。MATLAB は次の場所を順番に検索してライセンス ファイルを見つけます。

- 1 MATLAB の起動コマンド ラインに `-c` オプションを使用して指定されたライセンス ファイル。`-c` オプションは検索順序全体をオーバーライドし、コマンド ラインに指定されている内容のみを使用します。これは MATLAB が検索する“唯一の”パスです。

2 ネットワーク ライセンスでの製品のインストール

- 2 環境変数 `MLM_LICENSE_FILE` および `LM_LICENSE_FILE`。
- 3 プログラムを起動したユーザーのプロファイル フォルダー
- 4 MATLAB インストールの `\licenses` フォルダーにある `license.dat` というファイル、または拡張子 `.lic` をもつ任意のファイル。

MATLAB がネットワーク ライセンス サーバーからチェックアウトされると、同じセッションでチェックアウトされるすべてのツールボックスもそのライセンス サーバーから取得されます。パス上のライセンス ファイルがサーバー ライセンスではない場合（つまり、インディビジュアル、コンピューター指定、または評価版のスタンドアロン ライセンス ファイルである場合）でも、ツールボックスはそのファイルまたはライセンス サーバーからチェックアウトできます。

MATLAB ライセンスの検索パスの設定

既定で MATLAB は、ライセンス ファイルをクライアント コンピューター上の MATLAB クライアント インストール フォルダーにある `\licenses` フォルダーにインストールします。ただし、次のいずれかの方法でこの場所をオーバーライドすることができます。

- ・ MATLAB の起動時にコマンド ラインで `-c` オプションを使用して、ライセンス ファイルへのパスを指定します。

`-c` オプションは環境変数を含む検索順序全体をオーバーライドし、コマンド ラインに指定されている内容 “のみ” を使用します。これは MATLAB が検索する “唯一の” パスです。

検索を行うパスの一覧を指定できます。`-c` オプションを使用するときには、次のことに注意してください。

- ・ ライセンス ファイルへのパスにスペースが含まれる場合は、パス名を引用符で囲みます。
- ・ 複数のライセンス ファイルを指定する場合は、必ずライセンス ファイルのリスト全体を引用符で囲みます。
- ・ 環境変数を設定します。

"MLM_LICENSE_FILE" は、MATLAB 製品のライセンス ファイルの場所を指定します。MathWorks は、まずこの環境変数を検索します。

メモ 環境変数 `LM_LICENSE_FILE` を設定できますが、この変数はすべての Flex 対応製品に影響を与えるため、使用は推奨されません。代わりに、`<VENDOR>_LICENSE_FILE` を使用してください。

メモ 環境変数 `MLM_LICENSE_FILE` を使用している場合は、`matlab/licenses/network.lic` を削除する必要があります。

ネットワーク ライセンスの更新

製品やシート数の変更により MathWorks から新しいライセンスを受け取った場合、MATLAB ライセンスにユーザーがアクセスする可能性の最も低い時間に、ネットワーク サーバー上のライセンス ファイルを更新するように計画してください。この手順では、ネットワーク ライセンス マネージャーの停止と起動が必要です。再読み取りは特定のライセンスに影響を及ぼす可能性があるため、実行しないでください。

メモ MATLAB を新しいリリースにアップグレードする目的でこの手順を使用しないでください。後のリリースにアップグレードする場合は、「新しい MATLAB リリースの入手」を参照してください。

ライセンス ファイルの更新を行うのはライセンス管理者でなければなりません。

サーバー上のライセンス ファイルを更新するには、次を行います。

- 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスし、アカウントにサインインします。
- 2 更新するライセンスを選択します。
- 3 [インストールとアクティベーション] をクリックします。
- 4 更新するサーバー用のライセンス ファイルを取得します。
- 5 ネットワーク ライセンス マネージャーを停止します。
- 6 サーバー上の既存のライセンスと新しいライセンスの両方をエディターで開きます。以下の手順に従って、新しいライセンスの大部分を古いライセンスにコピーします。
 - a 既存のライセンスで、ファイルの先頭にある SERVER 行と DAEMON 行を除くすべてのコンテンツを削除します。
 - b 新しいライセンスで、SERVER 行と DAEMON 行の下から末尾までのすべてのコンテンツをコピーします。
 - c コピーしたコンテンツを、既存のライセンスの SERVER 行と DAEMON 行の下に貼り付けます。
 - d 既存のライセンスを保存します。新しいライセンスをバックアップとして保存できます。ただし、SERVER 行と DAEMON 行は組織固有のものに置き換えなければならない点に注意してください。
- 7 オプション ファイルがある場合、その構成によっては更新が必要なこともあります。オプション ファイルがない場合はこの手順を省略します。
- 8 ネットワーク ライセンス マネージャーを起動します。

ステータスを問い合わせ、ライセンス ファイルが更新されたことを確認できます。次のサポート記事に、ステータスを問い合わせる手順が記載されています。Monitor the Usage of Licenses or Keys

参考

外部の Web サイト

- ・ ライセンス センター

非対話的インストール

非対話的インストールを使用する状況

MATLAB ソフトウェアのインストールを多数回実行する必要がある、各インストールで入力する情報が同じである場合、この情報をプロパティ ファイルに設定して、MathWorks インストーラーを非対話的に実行することができます。プロパティ ファイルはインストーラーの起動時にコマンド ラインで指定します。このファイルは、通常であればインストーラーのダイアログ ボックスで対話的に指定する情報をインストーラーに与えます。非対話的インストール（サイレント インストールとも呼ばれます）では、時間を節約し、間違いを防ぐことができます。

インストーラー プロパティ ファイルの使用

メモ インストーラー プロパティ ファイル (installer_input.txt) を使用するには、ファイル インストール キーが必要です。ファイル インストール キーを使用するインストールの詳細については、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-13) を参照してください。

インストーラーを非対話的に実行するには、次を行います。

- 1 インストーラーと製品ファイルをダウンロードします。「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 1-9) の手順を参照してください。
- 2 MATLAB 製品インストーラーを含む製品ファイルが、コンピューターの既定のダウンロード フォルダーまたはネットワーク共有フォルダーなどのアクセス可能な場所にあることを確認します。製品ファイルがコンピューターの既定のダウンロード フォルダー以外の場所にある場合、インストーラーファイルは製品ファイルと同じフォルダーになければなりません。
- 3 インストーラー プロパティ ファイルを作成します。

installer_input.txt という名前のインストーラー プロパティ ファイル テンプレートのコピーを作成します。このファイルは、ソフトウェアをダウンロードしたフォルダーの最上位にあります。

たとえば、Windows コンピューターでは次のコマンドを実行します。

```
copy Z:\installer_input.txt C:\temp\my_installer_input.txt
```

- 4 任意のテキスト エディターを使用してインストーラー プロパティ ファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、製品をインストールする場所を指定するには、destinationFolder= パラメーターの値をインストール フォルダーの絶対パスに設定します（必ず絶対パスを渡してください。相対パスを使用すると、installer_input ファイルが正しく読み取られない場合があります）。

メモ Linux コンピューターおよび macOS コンピューターでインストーラー プロパティ ファイルを指定する方法の詳細については、インストーラー プロパティ ファイルのテンプレート (installer_input.txt) に含まれている手順を参照してください。

たとえば、Windows では次のようになります。

```
destinationFolder=C:\Program Files\MATLAB\R2023a
```

Linux または Mac OS では、次のようになります。


```
destinationFolder=/opt/MATLAB/R2023a
```

インストーラー プロパティ ファイルのテンプレートには、各パラメーターの説明が有効な値と共に含まれています。ファイル インストール キーを `fileInstallationKey=` パラメーターの値として指定します。

- 5 ファイルへの変更を保存します。
- 6 インストーラーと製品ファイルのダウンロード先フォルダーにいることを確認します。コマンド ウィンドウまたはコマンド ターミナルで、`-inputFile` オプションを使用してインストーラー プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定し、インストーラーを起動します。

- ・ Windows

```
setup.exe -inputFile C:\temp\my_installer_input.txt
```

- ・ Linux と Mac OS では、次のようにインストール スクリプトを使用します。

```
install -inputfile /tmp/my_installer_input.txt
```

インストール ログ ファイル

MathWorks 製品のインストールやアクティベーションの際に、製品のインストーラーは、インストール プロセスに関する情報の取得に使用できるログ ファイルを作成します。

インストール ログ ファイルの名前は `mathworks_%username%.log` で、アクティベーション ログ ファイルの名前は `aws_%username%.log` です。どちらの場合でも、`%username%` はインストーラーを実行しているユーザーです。

ログ ファイルの場所を見つけるには、Where are the Installation, Activation, & Service Host log files located for MATLAB?を参照してください。

2 ネットワーク ライセンスでの製品のインストール

エンド ユーザーによる製品のインストール

メモ [ネットワーク ライセンス ファイルが必要] というエラーのためにこのトピックを参照し、かつネットワーク ライセンスを既に MathWorks アカウントにリンクしている場合は、管理者に連絡してネットワーク ライセンス ファイルのコピーを入手してからインストーラーに戻ってください。

メモ 以下の手順は、ネットワーク ライセンスを使用して自分のマシンにインストールを行うユーザーをサポートするものです。エンド ユーザーのためにソフトウェアをインストールする管理者である場合は、「クライアント マシンへの製品のインストール」を参照してください。それ以外の場合は、以下の手順を参照して、ユーザーが正常にインストールを行うために必要なアイテムを提供してください。

ライセンス要件

すべてのネットワーク ライセンス ユーザーは、製品をインストールする前に、自分のマシンにネットワーク ライセンス (license.dat) のコピーを構成するか、そのコピーにネットワーク共有からアクセスできなければなりません。

- ・ 管理者 - ネットワーク ユーザーが MATLAB をインストールする前に、ネットワーク ライセンス マネージャーからの license.dat のコピーを渡してください。このネットワーク ライセンス ファイルは、組織のネットワーク ライセンス マネージャーのインストール時に処理されました。つまり、使用しているネットワーク ライセンス サーバーについて正しい SERVER 行が含まれています。インストール時におけるネットワーク ライセンスの処理方法の詳細については、「ライセンスの処理」を参照してください。

ライセンスの電子メールで受信したオリジナルのライセンス ファイルのコピーをユーザーに提供しないでください。この形式のライセンス情報は、正しい SERVER 行を含んでいないため、使用できません。また、MathWorks から受信したライセンス電子メールをユーザーに転送することも避けてください。

- ・ MATLAB ユーザー - MathWorks 製品をインストールする前に、ライセンス管理者またはネットワーク管理者から license.dat のコピーを入手する必要があります。

評価版ライセンスを使用している場合は、<https://www.mathworks.com/licensecenter/trials> にアクセスします。

手順の選択

次の表を参考にして、使用する手順を決定します。

シナリオ	使用する手順
MATLAB リリースの更新とアップグレードを自分で行う場合。	「オプション #1: MathWorks アカウントにネットワーク ライセンスをリンクする」
このインストールを 1 回だけ実行することを依頼され、自分で更新やアップグレードをインストールすることはないと想定される場合。コンピューターがオフラインの場合は、このオプションを使用しなければなりません。	「オプション #2: ライセンス ファイルとファイルインストール キーを使用してインストールする」

複数のリリース 同じマシンに複数のリリースをインストールできます。たとえば、R2022a と R2022b の両方、または R2022b と R2023a の両方をインストールできます。

オプション #1: MathWorks アカウントにネットワーク ライセンスをリンクする

コンピューターがオフラインの場合は、オプション #2 のワークフローに従わなければなりません。

ネットワーク ライセンスをリンクするには、次を行います。

- 1 管理者に連絡して、使用するネットワーク ライセンス番号を入手します。
- 2 ライセンスを MathWorks アカウントにリンクするには、追加のライセンスをリンクするの手順に従います（先にサインインしなければならないことがあります）。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、リンク先のページで作成できます。

- 3 管理者から組織のネットワーク ライセンス ファイルのコピーを取得し、このライセンス ファイルを、インストールを予定しているマシンにコピーします。

このオプションを選択した場合、「インターネット接続を使用した製品のインストール」に記載されたオンライン インストールの手順に従うことができますが、次の違いがあります。

オンライン インストール中にプロンプトが表示されたら、アカウントにリンクされたネットワーク ライセンスを指定します。インストーラーはこれをネットワーク ライセンスとして認識し、ライセンス ファイルの指定を求めるプロンプトを表示します。ライセンス ファイルへのパスを入力し、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

オプション #2: ライセンス ファイルとファイル インストール キーを使用してインストールする

このワークフローでは、コンピューターはインターネットに接続されていても、オフラインでも構いません。マシンがオフラインの場合は、このワークフローを使用しなければなりません。

- 1 管理者に連絡して、ネットワーク ライセンス ファイルのコピー（「ライセンス要件」を参照）と、ファイル インストール キー（FIK）を入手します。
- 2 このネットワーク ライセンス ファイルと FIK を、MATLAB のインストールを予定しているマシンにコピーします。
- 3 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」と「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」の手順に従います。管理者がインストーラーをダウンロードした場合は、その管理者にファイルへのアクセス権の付与を依頼します。

参考

関連する例

- ・ 「インターネット接続を使用した製品のインストール」 (p. 1-2)
- ・ 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-13)

手動による MATLAB インストールのアクティベーション

アクティベーションの概要

“アクティベーション” は、MathWorks 製品を使用するライセンス許可を受けていることを確認するプロセスです。このプロセスでは、ライセンスを検証して、選択したライセンス オプションで許可されている数を超えるコンピューターまたはユーザーによってソフトウェアが使用されないようにします。通常、アクティベーションはインストール中に行われ、エンド ユーザーによる個別のアクションはありません。

しかし、手動でソフトウェアのアクティベーションを行う場合もあります。たとえば、インストール時のアクティベーションが何らかの理由で失敗した場合や、ファイル インストール キーでインストールを行ってライセンスを指定しなかった場合です。

このトピックでは、手動でのアクティベーションが必要になった場合のアクティベーション方法について説明します。

他のユーザーがインストールした MATLAB ソフトウェアのアクティベーションを指示されているエンド ユーザーも、この手順に従っていただけます。

- ・ MATLAB 内からオンライン アクティベーションを実行するには、コンピューターがインターネットに接続されていなければなりません。
- ・ MATLAB 内からオフライン アクティベーションを実行するには、ライセンス ファイルがなければなりません。
 - ・ インディビジュアル ライセンスを使用している場合、オンラインのマシンを使用してライセンス センターに移動し、ライセンス ファイルを入手します（所有しているライセンスの種類がわからない場合は、ライセンス センターで確認できます）。
 - ・ 使用するライセンスを選択します。
 - ・ [インストールとアクティベーション] タブに移動します。
 - ・ [アクティベーションを実行してライセンス ファイルを取得] をクリックします。ライセンス ファイルをダウンロードし、オフラインのマシンに転送します。
- ・ 共有ライセンスを使用している場合、管理者に問い合わせ、所属する組織専用に構成されたライセンス ファイルを入手します。それをオフラインのマシンにコピーします。

手順 1. アクティベーション アプリの起動

アクティベーション アプリは、MATLAB 内から、またはオペレーティング システムのコマンド ラインから起動することができます。

MATLAB からのアクティベーション アプリの起動

次の手順に従います。

- 1 [ホーム] タブの [リソース] セクションで、[ヘルプ]、[ライセンス] をクリックします。
- 2 [ソフトウェアのアクティベーションを行う] を選択します。

コマンド ラインからのアクティベーション アプリの起動

- ・ Windows システム – タスク バーの検索ボックスに「Activate」と入力し、[Activate MATLAB] アプリケーションを表示させます。

- ・ macOS システム – MATLAB アプリケーション パッケージに含まれているアクティベーション アプリケーションのアイコンをダブルクリックします。MATLAB アプリケーション パッケージの内容を表示するには、パッケージを右クリック（または Ctrl キーを押しながらクリック）し、[パッケージの内容を表示] を選択します。
- ・ MATLAB インストール フォルダーに移動し、アクティベーション アプリケーションを開きます。
 - ・ Windows システム – matlabroot\bin\\${ARCH} フォルダーにある MathWorksProductAuthorizer.exe ファイルをダブルクリックします。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダーであり、\${ARCH} は matlabroot\bin\win64 のようなプラットフォーム固有のサブフォルダーです。
 - ・ Linux および macOS システム – matlabroot\bin\\${ARCH} フォルダーにある MathWorksProductAuthorizer を実行します。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダーであり、\${ARCH} は matlabroot\bin\glnxa64 フォルダーのようなプラットフォーム固有のサブフォルダーです。

手順 2. ライセンスのアクティベーション

メモ コンピューターがオフラインの場合、ライセンス ファイル（オフライン）のワークフローが自動的に開始します。しかし、コンピューターがインターネットに接続されている場合は、オンラインのワークフローが開始します。

- ・ ライセンス ファイルのワークフローに切り替えるには、[詳細オプション] で [ライセンス ファイルを使用する] を選択します。
 - ・ ライセンス ファイルのワークフローからオンラインのワークフローに切り替えるには、[詳細オプション] で [ライセンスをリンクする] を選択します。
-

オンラインのワークフロー

- 1 MathWorks アカウントに使用する電子メール アドレスを入力します。

MathWorks アカウントがない場合は、この時点で作成できます。
- 2 MathWorks アカウントとリンクされたライセンスのリストからライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。
- 3 選択内容が正しいことを確認し、[アクティベーション] をクリックします。

オフライン（ライセンス ファイル）のワークフロー

- 1 電子メール アドレスの入力を求めるプロンプトが表示されたら、[詳細オプション] で [ライセンス ファイルを使用する] を選択します。
- 2 ライセンス ファイルへのパスを入力し、[アクティベーション] をクリックします。

この後は

MathWorks ソフトウェアの使用を開始する準備ができました。

ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

ネットワーク ネームド ユーザー ライセンスとコンカレント ライセンス用に、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールして実行します。

ネットワーク ライセンス マネージャーのオフライン インストール

インターネットに接続されていないマシンにネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするには、ネットワーク ライセンス ファイルを使用します。ただし、最初に、インターネットに接続されているコンピューターを使用してインストーラーとライセンス ファイルをダウンロードしなければなりません。

MATLAB ソフトウェアをクライアント システムにインストールする前に、ライセンス マネージャーをインストールして実行していなければなりません。MathWorks ソフトウェアをクライアント システムにインストールする方法の詳細については、「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2) を参照してください。

ネットワーク ライセンス マネージャーは、サイトで 1 回のみインストールする必要があります。

手順 1. ライセンス ファイルのダウンロード

これらの手順は、インターネットに接続しているマシンで実行してください。

- 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターに移動します。指示があった場合は、MathWorks アカウントにサインインします。
- 2 使用するネットワーク ライセンスをクリックします。
- 3 [インストールとアクティベーション] タブをクリックし、[サーバーのアクティベーションを実行] をクリックします。
- 4 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。MATLAB Answers の [What is a Host ID? How do I find my Host ID in order to activate my license?](#) を参照してください。
- 5 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムのタイプとホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションに説明ラベルを割り当てることもできます。[続行] をクリックします。
- 6 [ソフトウェアはインストールされていますか?] に [いいえ] と回答して、[続行] をクリックします。
- 7 [ライセンス ファイルをダウンロード] または [ライセンス ファイルを電子メールで送信] を選択します。

いずれのオプションを選択した場合でも、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするサーバーにライセンス ファイルを必ず保存してください。

[続行] をクリックします。

このワークフローでは、ライセンス センターの手順 2 と手順 3 をスキップし、引き続きここに示す手順に従うことができます。

手順 2. インストーラーのダウンロード

- 1 インターネットに接続されているコンピューターで、MathWorks Web サイトのダウンロード ページから MathWorks 製品のインストーラーをダウンロードします。
- 2 インストーラー ファイルとライセンス ファイルを、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするサーバーにコピーします。

手順 3. インストーラーの起動

1 インストーラーを起動します。

- Windows システム

MathWorks Web サイトでインストーラーを選択し、[実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$ARCH` です。release はインストールするリリース (R2020a など) を、\$ARCH は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- macOS システム

MathWorks Web サイトからダウンロードした `dmg` ファイルをダブルクリックします。`InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。

- Linux システム

`unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

手順 4. ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

メモ インストール後に適宜エンド ユーザー ライセンス許諾書を表示するには、MATLAB コマンド ウィンドウで次のコマンドを実行します。

```
>> edit( fullfile(matlabroot, 'license_agreement.txt') )
```

手順 5. ライセンス ファイルの選択

手順 1 でダウンロードしたライセンス ファイルの名前とパスを入力します。[次へ] をクリックします。

ライセンスに含まれるホスト ID をインストーラーが見つけない場合、インストール完了後にホスト ID を手動で追加するよう指示するメッセージが表示されます。

手順 6. 保存先フォルダーの選択

保存先フォルダーは、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする場所です。既定のインストール フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

3 ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。MathWorks では、ネットワーク ライセンス マネージャーを専用のフォルダーにインストールすることを推奨します。ドライブの最上位を選択した場合、選択内容を確認するように求められます。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を“private”にすることはできません。

フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定値に戻す] をクリックします。

手順 7. オプションの選択 (Windows システムのみ)

ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを一元管理できます。システム起動時にライセンス マネージャーを自動的に起動する場合は、[サービスとして構成] チェック ボックスをオンにします。

ネットワーク ライセンス マネージャーの既定の設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定しないことを選択した場合は、後から設定できます。

メモ 新しいネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするまで既存のネットワーク ライセンス マネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとして構成] チェックボックスをオンにしないでください。この場合でも、インストーラーによりネットワーク ライセンス マネージャー ファイルがインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動できます。

手順 8. 選択内容の確認とインストール

インストールの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。インストールを続行するには、[インストールの開始] をクリックします。

インストールが完了したら、構成を完了するために必要な追加の手順が表示されるかどうかを確認し、[閉じる] をクリックします。追加の手順が必要な場合は、クライアント マシンに MATLAB をインストールして実行する前に完了しておきます。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2)

インターネット接続を使用したネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

インターネットに接続しているコンピューターにネットワーク ライセンス マネージャーをインストールします。MATLAB ソフトウェアをクライアント システムにインストールする前に、ライセンス マネージャーをインストールして実行していなければなりません。「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2) を参照してください。

ネットワーク ライセンス マネージャーは、サイトで 1 回のみインストールする必要があります。

手順 1. ライセンス ファイルのダウンロード

- 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターに移動します。指示があった場合は、MathWorks アカウントにサインインします。
- 2 このインストールに使用するネットワーク ライセンスをクリックします。
- 3 [インストールとアクティベーション] タブをクリックし、[サーバーのアクティベーションを実行] をクリックします。
- 4 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。
What is a Host ID? How do I find my Host ID in order to activate my license? を参照してください。
- 5 ネットワーク ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムのタイプとホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションに説明ラベルを割り当てることもできます。[続行] をクリックします。
- 6 [ソフトウェアはインストールされていますか?] に [いいえ] と回答して、[続行] をクリックします。
- 7 [ライセンス ファイルをダウンロード] または [ライセンス ファイルを電子メールで送信] を選択します。

いずれのオプションを選択した場合でも、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするサーバーにライセンス ファイルを必ず保存してください。

[続行] をクリックします。

このワークフローでは、ライセンス センターの手順 2 と手順 3 をスキップし、引き続きここに示す手順に従うことができます。

手順 2. 製品インストーラーのダウンロードと起動

- 1 MathWorks Web サイトのダウンロード ページから MathWorks 製品のインストーラーをダウンロードします。

Web サイトでインストーラーを選択すると、ライセンス マネージャー ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストール時に、インストーラーが必要なファイルを MathWorks からダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。

- Windows システム

3 ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

MathWorks Web サイトでインストーラーを選択し、[実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$ARCH` です。release はインストールするリリース (R2020a など) を、\$ARCH は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ macOS システム

MathWorks Web サイトからダウンロードした `dmg` ファイルをダブルクリックします。`InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。

- ・ Linux システム

`unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

- 3 インストーラーからサインインを指示されたら、[詳細オプション]、[ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする] をクリックします。

手順 3. ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

メモ インストール後に適宜エンド ユーザー ライセンス許諾書を表示するには、MATLAB コマンド ウィンドウで次のコマンドを実行します。

```
>> edit( fullfile(matlabroot, 'license_agreement.txt') )
```

手順 4. ライセンス ファイルの選択

手順 1 でダウンロードしたライセンス ファイルの名前とパスを入力します。[次へ] をクリックします。

ライセンスに含まれるホスト ID をインストーラーが見つけない場合、インストール完了後にホスト ID を手動で追加するよう指示するメッセージが表示されます。

手順 5. 保存先フォルダーの選択

保存先フォルダーは、ネットワーク ライセンス マネージャーをインストールする場所です。既定のインストール フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

保存先フォルダーは絶対パスでなければなりません。MathWorks では、ネットワーク ライセンス マネージャーを専用のフォルダーにインストールすることを推奨します。ドライブの最上位を選択した場合、選択内容を確認するように求められます。

フォルダー名を指定するときには、次の条件があります。

- ・ 任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。
- ・ 英語以外の文字は使用できません。
- ・ フォルダー名に無効な文字を含めることはできません。また、保存先の名前を“private”にすることはできません。

フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定値に戻す] をクリックします。

手順 6. オプションの選択 (Windows システムのみ)

ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを一元管理できます。システム起動時にライセンス マネージャーを自動的に起動する場合は、[サービスとして構成] チェック ボックスをオンにします。

ネットワーク ライセンス マネージャーの既定の設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ネットワーク ライセンス マネージャー サービスを設定しないことを選択した場合は、後から設定できます。

メモ 新しいネットワーク ライセンス マネージャーをインストールするまで既存のネットワーク ライセンス マネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとして構成] チェックボックスをオンにしないでください。この場合でも、インストーラーによりネットワーク ライセンス マネージャー ファイルがインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動できます。

手順 7. 選択内容の確認とインストール

インストールの選択内容のまとめを確認します。設定を変更するには、ナビゲーション バーのトピックをクリックします。インストールを続行するには、[インストールの開始] をクリックします。

インストールが完了したら、構成を完了するために必要な追加の手順が表示されるかどうかを確認し、[閉じる] をクリックします。追加の手順が必要な場合は、クライアント マシンに MATLAB をインストールして実行する前に完了しておきます。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャーのインストールと構成の計画」 (p. 2-2)

3 ネットワーク ライセンス マネージャーのインストール

ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新

ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアを更新するには、ライセンス マネージャーを停止してから再起動する必要があります。この手順を実行するのはネットワーク ライセンス管理者でなければなりません。

ライセンス ファイルの運用に関する潜在的な問題を回避するために、MATLAB ソフトウェアをアップグレードするときには常に、ネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアのアップグレードを検討してください。

手順 1. ネットワーク ライセンス マネージャーの停止

ネットワーク ライセンス マネージャーを実行中の場合は終了します。

- ・ Linux システムおよび macOS システム – `lmdown` コマンドを使用します。詳細については、「コマンド ライン ユーティリティの使用」を参照してください。
- ・ Windows システム – 競合を回避するために既存のサービスを削除します。
 - 1 `matlabroot\etc\ARCH` フォルダーにある `lmttools.exe` ファイルをダブルクリックして、`LMTTOOLS` を起動します。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダー、`ARCH` は `win64` などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。
 - 2 [Config Services] タブを選択します。
 - 3 [Service Name] メニューから、削除するサービスを選択して [Remove Service] をクリックします。

手順 2. インストール方法の選択

ネットワーク ライセンス マネージャーを更新するために、ソフトウェア デーモンのみをダウンロードするか、MATLAB インストーラーを使用するかを選択できます。

ダウンロードしたデーモンを使用したネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新

ネットワーク ライセンス マネージャーが既にインストールされ、設定されている場合は、MathWorks インストーラーを使用する代わりにサーバーに直接新しいネットワーク ライセンス マネージャー デーモンをダウンロードして、ソフトウェアの最新バージョンをインストールできます。ライセンス マネージャー デーモンには、次のものが含まれます。

- ・ `lmgrd` – ネットワーク ライセンス マネージャー デーモン
 - ・ `m1m` – MathWorks ベンダー デーモン
- 1 手順 1 で説明したように、ネットワーク ライセンス マネージャーを停止します。
 - 2 MathWorks Web サイトの License Manager Download から、使用しているプラットフォーム用の zip ファイルをダウンロードします。
 - 3 ファイルを zip ファイルからネットワーク ライセンス マネージャーのフォルダーに解凍します。ライセンス マネージャー ファイルの既定の場所は、`matlabroot\etc\ARCH` フォルダーです。`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダー、`ARCH` はプラットフォーム固有のサブフォルダーを表します。
 - 4 ネットワーク ライセンス マネージャーを再起動し、必要に応じて設定します。

MATLAB インストーラーを使用したネットワーク ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新

- 1 手順 1 で説明したように、ネットワーク ライセンス マネージャーを停止します。
- 2 ライセンス マネージャーのソフトウェア更新をインストールします。「ライセンス サーバーへのライセンス マネージャーのインストール」の手順に従います。

参考**関連する例**

- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャーの起動」
- ・ 「ネットワーク ライセンス マネージャーの監視」

